



職業的実践規範

Royal Academy of Dance に 登録している教師用

ROYAL ACADEMY OF
DANCE

目次

1. 概要	1
2. RAD のビジョン、ミッション、および価値観	1
3. 求められる価値観と行動	2
3.1 指導	2
3.2 Continuing Professional Development	4
3.3 試験	4
4. 個人的行為と職業上の行為	5
5. 許されない職業上の行為と不正行為	6
5.1 生徒、両親、保護者、および同僚に関する行為	6
5.2 その他の行為	6
6. 「職業的実践規範」に対する違反	7
7. 懲戒手続き	8
7.1 「苦情についての方針」および「懲戒のルールと手続き」	8
7.2 「行為聴聞会」と不服申し立ての権利	9
7.3 「行為聴聞会」および「不服申し立て聴聞会」による 決定事項の公開	9
8. RAD の諸方針	9

1. 概要

「職業的実践規範」には、Royal Academy of Dance (RAD) に登録しているすべての教師に求められる行為と実務の基準が記されています。

「職業的実践規範」は RAD に登録している教師用に、RAD のビジョン、ミッション、および価値観に裏打ちされた基準を定め、これによって最高水準のダンス教育、指導、学習を世界各地で定め、維持し、推奨することを目指すものです。

RAD に登録しているすべての教師は、「職業的実践規範」に従う義務があります。「職業的実践規範」を守らなかった場合、教師の登録抹消や RAD からの除名につながる可能性があります (第 5 項および第 6 項を参照)。

2. RAD のビジョン、ミッション、および価値観

ビジョン: ダンスの教育とトレーニングにおいて世界を主導する RAD は、高水準の指導と学習により国際的に高い評価を受けています。ダンス教師のプロフェッショナルな会員を擁する組織として、ダンスの教師や生徒、メンバー、スタッフにインスピレーションと活力を与え、また世界中でダンスとダンス教育に対し独創的で芸術的な持続的貢献を行っています。

ミッション: RAD は教師と生徒の教育とトレーニングを行い、試験の実施で学習成果に報いることにより、ダンスの知識、理解、実践の促進と強化を世界各地で進め、ダンスの持つ豊かで芸術的、教育的な価値を今後の世代のために維持し、発展させます。

価値観: RAD では組織として、また個人としてリーダーシップを提示します。RAD はその人材を大切にしています。組織のあらゆる階層において、教師、生徒、メンバー、およびスタッフはダンスに有意義な貢献をする自らの能力を認識し、創造的に思考するよう奨励されています。RAD は、誰もが生涯を通して学習しプロとして継続的に成長するという考えをサポートし、促進しています。

RAD では、すべての教師、生徒、メンバー、およびスタッフが互いに敬意を払い、あらゆる職業的関係においてオープンな姿勢と信頼を重んじるよう求めています。RAD ではまた、誠実さを認め、これに報いることが重要だと考えています。

RAD は、組織として実行し提供するすべての活動において喜びと充足感を追求します。芸術性を引き出し、教育を支援し、学習意欲を高める、魅力的で温かい環境を作り出そうと努めています。

RAD では以下を実行します。

- ・ オープンなコミュニケーション
- ・ 組織内外との連携
- ・ 品位とプロフェッショナリズムに則った行動
- ・ クオリティと卓越性の提供
- ・ 多様性の尊重と差別のない運営
- ・ ダンスの提唱者としての活動

3. 求められる価値観と行動

RAD に登録している教師は、その生徒の学習を活動の主要目的とし、自らの指導、仕事、行為において可能な限り最高の水準を達成する責任を持つものとします。

教師は常に以下を遵守しなければなりません。

- ・ 誠意と品位を伴った行動をする
- ・ 確固とした学科知識を所持する
- ・ 教師としての知識と技能を最新に保つ
- ・ 自己評価を行う
- ・ プロとして建設的な関係を培う
- ・ 生徒の利益を最優先して両親や保護者と協力する

3.1 指導

教師は以下を実行しなければなりません。

3.1.1 高い期待を抱いて生徒を刺激し、動機を与え、意欲を高める。

- ・ 生徒の情操的、知的、身体的安定を促進するために、踊り手としての可能性をフルに実現できるようすべての生徒を励まし、サポートする。
- ・ ダンス教育の広範な普及の目安として、知識、理解、および技能を統合する確固とした基礎を提供する。
- ・ 相互の敬意に基づいた、生徒にとって安全で刺激的な環境を確立する。
- ・ 生徒に求められる価値観と行動を、前向きな態度で提示する。

3.1.2 ダンス指導は包括的な実践活動であり、生徒と教師は両者とも心と体の複雑な交流を持つということを理解する。

- ・ コミュニケーションと非公式評価のモデルを含め、生徒の年齢や学習段階に合ったさまざまな指導モデルを使用する。
- ・ これまでの上達や継続的な必要事項および目標について、生徒が省察を行うよう指導する。
- ・ 生徒が自らの学習に責任と誠意をもって取り組むよう奨励する。
- ・ 指導に際しては、文書、口述、非言語のコミュニケーション行為を広範に活用する。

3.1.3 学科やシラバス (教授要綱)/カリキュラムについての包括的知識を示す。

- 生徒が受験準備を進めている試験の必要条項について、確実で最新の知識を保持する。
- ダンスについて生徒の抱く興味と喜びを培い維持して、上達と達成の価値を伝える。
- 生徒の能力や、これまでのダンス経験と知識に注意を払い、こうした能力の上に生徒が積み重ねを行うことができるよう指導を計画する。
- 生徒の身体的、運動的、心理的な理解レベルと現在の能力に従い、個々の生徒とクラスに合わせて対話的にエクササイズを策定する。

3.1.4 良く構成されたレッスンを計画し、指導する。

- 効果的なダンス教育とトレーニングにはダンス・パフォーマンスの評価、知識、理解が不可欠であることを認識し、舞台芸術としてダンスと向き合うよう生徒に勧め、サポートする。
- 以下を基に、生徒にふさわしいレッスンを考案する。
 - 子供の発達(身体、運動、認識、情操面での)についての広範な理解
 - 各生徒の現在の能力/レベルについての知識
 - 各レベルのシラバス(教授要綱)/カリキュラムにおける技法と評価基準についての知識
 - 教育原理についての理解
 - 現在のダンス教育実践についての認識
 - スタジオの広さ、フロア、バー、その他のリソースなど、現場での制約
- 以下を含む(しかしこれらに限定されない)さまざまな教育技法をフルに利用する。
 - 複雑な動きを個々の要素に分けて単純化する
 - 音楽、リズム、言葉、音を利用して理解を助ける
 - 多感覚による学習経験を利用する
 - 反復とバリエーション
 - 段階的に複雑さを上げて上達を補助する
 - 生徒の考えとフィードバックを取り入れる

3.1.5 個々の生徒の強みとニーズに応じた指導を行う。

- 各生徒のトレーニングの現行段階を評価し、特定の動きについて個人的補助が必要かどうかを確認する。
- 子供(生徒)の身体的、運動的、社会的、知的な発達について注意を払い、異なった発達段階でのダンス教育とトレーニングをサポートするよう指導を適合させる方法を習得する。
- Additional Learning Needs (ALN: 追加学習支援) など、あらゆる生徒の必要事項を明確に把握し、彼らの関心を高めサポートするための分化した指導方法を使用できるようにする。

3.1.6 行動を効果的に管理し、前向きで安全な学習環境を確保する。

- ダンススタジオでは明確なルールと手順を設定し、責任を持って丁寧で礼儀正しい行動を奨励する。
- 期待を高く抱き、賞賛、確認、報奨を一貫して公正に用いることで、さまざまな方法により規律の枠組みを確立する。
- 生徒と良好な関係を維持し、適切な権限を行使し、必要なときは断固たる態度で行動する。

3.2 Continuing Professional Development

教師は以下を実行しなければなりません。

3.2.1 最新の知識、理解、および技能を維持するために Continuing Professional Development (CPD: プロとしての継続的成長) に真摯に取り組み、これによってダンス関連の職業における発展に応じられるようにする (RAD に登録しているすべての教師に義務付けられる、RAD の CPD スキームのルールと規制に従って)。

3.3 試験

教師は、受験者を試験に参加させるにあたって以下を行う必要があります。

3.3.1 以下に関連するものを含め (しかしこれらに限定されない)、RAD Examinations Board (RAD 試験委員会) により公表されているすべての関連方針、ルール、および規制に注意を払い、それらを遵守する。

- 学校および受験者の登録
- 受験者の試験への参加申し込み (参加条件の確認や料金の即時支払いなどを含む)
- Approved Examination Centre (公認試験センター) で試験を行うための必要条件
- 試験の内容、点数スキーム、および評価基準
- 認定証明書、結果フォーム、評価レポート、メダルに関連する要件 (これらを受験者にタイミングよく渡すことなどを含む)
- 関連規制機関により課される要件

教師は以下を実行してはなりません。

3.3.2 上記 3.3.1 で言及されている任意のドキュメント、または試験結果や評価レポート用に時々用意される他のドキュメントで、何らかの印の改ざん、汚損、修正、置換、添付を行う。または、こうした事項を任意の第三者に対し不正に渡す。

教師は以下を実行しなければなりません。

3.3.3 以下を含め、試験費用に関して、受験者やその両親および保護者への対応を見通しがよくオープンなものとする。

- 公表されている試験費用を超えて受験者または両親および保護者に課される料金がある場合は、その明細を記して目的を明確に説明する。
- 対象の受験者が実際に申し込んだ、または申し込む予定の RAD 試験に対してのみ、受験者、両親、および保護者への請求を行う。

教師は、いかなる形でも以下を行ってはなりません。

3.3.4 以下の場合を含め(しかしこれらに限定されない)、受験者を試験に参加させる資格がある RAD の登録教師として自分の地位を詐称する、または乱用する。

- 受験者を試験に参加させる資格が何らかの理由(会費の未納を含むが、これに限定されない)で一時的または永久的に差し止められている場合に、受験者、両親、保護者、または公衆一般に対しこの資格を詐称する。
- RAD の試験に受験者を参加させる資格を持たない別の教師に代わって受験者の参加申し込みを行い、それが、こうした資格をその教師に不当に与える結果になると見なされる。これには、登録が一時的または永久的に差し止められているために、受験者を試験に参加させる資格を持たない教師に代わり、受験者の参加申し込みを行う場合などが含まれる。

4. 個人的行為と職業上の行為

RAD に登録している教師には、高い水準の個人的行為と職業上の行為が求められます。以下の記述は、教師の全履歴を通して求められる基準となる行動と態度を定義するものです。

教師は以下を実行しなければなりません。

ダンススタジオや学校の内外で高い倫理と行動の基準を維持することにより、生徒、両親、保護者、および RAD から寄せられた信頼を守る。特に以下の点に留意する。

- 生徒に威厳をもって接し、相互の敬意に根ざした関係を築き、常に教師のプロとしての立ち位置にふさわしい適切なけじめをつける
- 優れた実践と課せられた法的要件に従い、生徒の福祉を守る必要性を重んじる
- 他者の権利、信仰、信条に寛容と敬意を示す
- 生徒やその家族の感情を害したり、生徒の弱みにつけこむような形で自分個人の信条を表現しないようにする
- あらゆる職業上および業務上の判断において高潔に振る舞い、他のダンス専門家、組織、生徒、およびその家族に対し常に誠意、公正な態度、礼儀、心遣いを示す

自分の指導する学校の理念、方針、実践についてプロとして適正な敬意を払い、自分の出席や時間厳守については高い標準を維持する。

自分に適用される、または自分の職業的義務と責任の記されている法的枠組みおよびあらゆる RAD の方針と枠組みを理解し、それらに収まる範囲で常に行動する。

教師は以下を実行してはなりません。

自分の資格、経験、または職業的地位を詐称する。

5. 許されない職業上の行為と不正行為

許されない職業上の行為または不正行為とは、RAD に登録している教師に求められる基準に背く行為であり、ダンス指導の職業の適正標準に違反する行動です。許されない職業上の行為または不正行為を教師が犯したかどうかは、RAD に登録している教師用の「懲戒のルールと手続き」に記された懲戒措置の実行が発議された後、「行為聴聞会」の結論によって決定されます。

5.1 生徒、両親、保護者、および同僚に関係する行為

RAD に登録している教師は、次の場合、許されない職業上の行為または不正行為として罪を問われる可能性があります。

以下を行った場合:

- 生徒、その両親、保護者、または同僚に対し重大な侮辱または批判を行う、または性別、配偶者の有無、宗教、信条、皮膚の色、人種、民族、社会階層、性的指向、障害、または年齢に関し差別的な行為を行う。

以下を行わなかった場合:

- 安全と福祉を確保するために、自分の監視下の生徒に当然の配慮を行う。
- 法的要件と合致する方法で守秘義務を守る。
- 生徒の習得と達成の試験、判定、評価に関し、RAD および関連法的機関の要件を遵守する。

5.2 その他の行為

RAD に登録している教師は、次の場合、許されない職業上の行為または不正行為として罪を問われる可能性があります。

以下を行わなかった場合:

- 学校の所有物や財源の使用を含め、経営と管理義務において適切な公正と健全性の基準を維持する。

以下を行った場合:

- 自分の職業的地位、資格、または経験を乱用または詐称する。
- RAD およびダンス指導の職業の信用と評判を大きく落とす可能性がある、または実際に大きく落とすような行為を行う。
- 正当な理由または事前承認された免除なしに、毎年の CPD の最低要件に従わない。
- 毎年の CPD 要件について、故意に誤った申告を行う。

上記は該当行為を完全に網羅しているリストではありません。

この「職業的実践規範」の目的は、それぞれの活動国における雇用、安全衛生基準、児童保護、著作権、データ保護、平等と多様性、保険などに関連する法律を条項ごとに提示することではありません。したがって、RAD に登録している教師は、教師としての自分に課されるすべての法的義務を承知しておく必要があり、自分が活動する国のあらゆる法的義務を遵守しなければなりません。

6. 「職業的実践規範」に対する違反

RAD のメンバーは、RAD に登録している教師による「職業的実践規範」の違反について知っている場合、またはそれに気付いた場合、地元の RAD オフィスに通知する必要があります。連絡詳細の完全なリストは、www.rad.org.uk を参照してください。

「職業的実践規範」の違反はまた、例えば生徒、両親、保護者、または任意の一般人などの非メンバーによっても RAD に通知される場合があります。

ダンス教職者だけでなく、RAD、そのメンバー、生徒、両親、保護者、および公衆には、RAD に登録している教師に対し最高の職業的標準を守るよう求める権利があります。

RAD に知らされた、または RAD で気付いたすべての「職業的実践規範」の違反は、Royal Academy of Dance の内規 9.3 および 10.1 (「懲戒のルールと手続き」) に基づき、「懲戒のルールと手続き」に従って実施される措置につながります。

「職業的実践規範」の違反のため RAD に登録している教師に対し懲戒措置が取られる場合がありますが、懲戒措置が取られたからといって、必ずしもその教師が自動的に教師の登録から削除されることにはなりません。RAD には、「懲戒のルールと手続き」で使用できる、次のようないくつかの制裁措置があります。

- メンバーに戒告する
- メンバーは直ちに RAD のメンバーシップを打ち切られる
- メンバーの教授登録が削除される (該当する場合)
- メンバーの名前が RAD の教師登録から削除される (該当する場合)
- メンバーは特定期間中または永久的に、今後 RAD のメンバーシップや教師登録に申し込む資格が剥奪される

RAD に登録している教師が犯罪行為で有罪となった場合は、このことを地元の RAD オフィスに報告しなければなりません。教師が犯罪行為で有罪となったという旨の情報を RAD が受け取った場合、RAD はその教師に、犯罪記録の証拠となる Standard Disclosure Certificate (標準開示証明書) または他の類似の通知書を提示するよう求める場合があります。教師は、この証拠を書面による請求で明記された時間内に提供しなければなりません (期限は 28 日以内)。

すべての有罪判決が RAD の教師登録やメンバーシップに関連すると見なされるわけではなく、それぞれのケースは個別に考慮されます。

この「職業的実践規範」に関わる通信は、地元の RAD オフィス宛てに送る必要があります。連絡詳細の完全なリストは、www.rad.org.uk を参照してください。

7. 懲戒手続き

RAD には、RAD に登録している教師に関連する一連の懲戒ルールと手続きがあります。この項では、Royal Academy of Dance の内規 9.3 および 10.1 に基づく、すべてのメンバーに関連する「懲戒ルールと手続き」の概要を示します。

7.1 「苦情についての方針」および「懲戒のルールと手続き」

RAD に登録している教師に対するすべての苦情は真摯に受け止められ、「苦情についての方針」および「懲戒のルールと手続き」に記されているルールに従って処理されます。必要であれば、教師が違法行為をした場合の現地当局の手続きに沿って RAD が連絡を取ります。

すべての苦情は、「懲戒のルールと手続き」で RAD の苦情処理係として指名された担当者によってまず選別されます。ケースの事実関係と苦情の重大性を鑑みて、苦情処理係は最高責任者に以下のいずれかの提言を行う場合があります。

- a. 対応すべき一応の証拠のある事件は存在しない
- b. 苦情は瑣末的または訴権乱用であり、却下される
- c. 苦情は法廷での訴訟対象であるため、訴訟手続きの結果を待って苦情が処理され、その訴訟の結果に照らして再検討される
- d. 苦情は調停のプロセスを通して解決される可能性があり、その場合、苦情処理係はそのプロセスの実施を手配する。調停がうまくいかない場合、苦情処理係は以下に記す (i) または (ii) のいずれかの結論を出すものとする。
 - i. 対応すべき一応の証拠のある事件が存在し、「行為聴聞会」を招集する必要がある
 - ii. 対応すべき一応の証拠のある事件は存在せず、苦情は却下され打ち切られる

教師は、受け取った苦情について書面により通知を受け、「苦情についての方針」に基づいて、事態について陳述し、自分に対する苦情に関連すると思われる任意の情報を提示する機会が与えられます。

7.2 「行為聴聞会」と不服申し立ての権利

「行為聴聞会」が招集される場合、教師はこの件につき書面で通知を受け、「懲戒のルールと手続き」に従って聴聞会で実施される手続きについての情報が知らされません。

すべての「行為聴聞会」は非公開で行われ、教師は、これに出席して提示された証拠について説明し、自分が懲戒を受けるべきでない理由を述べる権利を有します。教師は「行為聴聞会」の決定について、「行為聴聞会」が開かれてから通常は 10 日以内に書面での通知を受けます。

教師には、決定の書面による通知を受け取って 7 日以内に、「行為聴聞会」の検定のすべてまたは一部に対し不服申し立てを行う権利があります。「不服申し立て聴聞会」は、「懲戒のルールと手続き」に従って招集されます。

7.3 「行為聴聞会」および「不服申し立て聴聞会」による決定事項の公開

評議委員会および教師は、「行為聴聞会」および「不服申し立て聴聞会」の決定について書面による通知を受けます。教師に課される制裁措置を含め、すべての聴聞会の結果は、「行為聴聞会」招集の原因となった行為と状況に応じて、RAD のウェブサイトおよび *Dance Gazette*、*Focus on Members*、*Focus on Exams* など RAD の出版物や、RAD により適切と見なされた任意の出版物で報告される可能性があります。

8. RAD の諸方針

RAD の諸方針は、www.rad.org.uk で確認することができます。

Royal Academy of Dance®
36 Battersea Square
London SW11 3RA
電話: +44 (0)20 7326 8000
ファクス: +44 (0)20 7924 3129
電子メール: info@rad.org.uk



Royal Academy of Dance® は、イングランドおよびウェールズの慈善団体第 312826 号として登録されています。